

## 令和2(2020)年度 科学研究費助成事業(研究代表者)

No.	研究種目	所属	職名	交付決定者	課題名	研究期間(年)
1	基盤研究B	経済学部	講師	小濱武	占領下沖縄における農業・資源・農村問題:資料ネットワークの構築と実証的研究	2020-2023
2	基盤研究B	総合文化学部	准教授	市川智生	近現代東アジアにおける「健康観」形成の比較史研究	2020-2023
3	基盤研究B	総合文化学部	教授	里麻奈美	動詞先行型危機言語と日英語から見る身体運動・言語・認知の関係とその普遍性	2020-2022
4	基盤研究C	法学部	教授	上江洲純子	再建型倒産手続における労働契約の処遇の在り方 英・濠における取扱いを手掛かりに	2020-2022
5	基盤研究C	経済学部	准教授	齋藤星耕	土壌生物多様性モニタリング技術の抜本的改善: 過大・過小評価の抑制と定量性の向上	2020-2022
6	基盤研究C	産業情報学部	教授	イヒョンジョン	日本語教育推進法による沖縄型日本語支援の在り方 - 離島地域の結婚移住女性を中心に	2020-2022
7	基盤研究C	産業情報学部	准教授	小渡悟	複合現実を用いた組み込みプログラミング教育の支援システム構築	2020-2022
8	基盤研究C	総合文化学部	准教授	比嘉理麻	生き方としての基地反対運動ージュゴンの里づくりと命の民主主義に関する人類学的研究	2020-2022
9	基盤研究C	総合文化学部	教授	桃原一彦	日本と沖縄との関係をめぐる「受益圏 / 受苦圏」概念の再検討と実証的研究	2020-2022
10	基盤研究C	総合文化学部	教授	岩田直子	障害者の自立生活を可能にする主体形成とライフヒストリーとの関連性に関する研究	2020-2022
11	若手研究	経済学部	講師	大城絢子	臨床研究を対象とした複数の法令間の特徴と関連性の抽出とそれらの可視化	2020-2021
12	若手研究	産業情報学部	講師	島袋桂	保育施設の方針の違いによる身体活動・座位行動環境と身体活動・座位行動の関連	2020-2022
13	研究活動スタート支援	総合文化学部	講師	山岡明奈	マインドワンダリングの拡散程度と効果的な休憩に関する基礎的研究	2020-2022
14	基盤研究C	産業情報学部	教授	又吉光邦	観光資源として活かすための八重山諸島群の伝統染織物についての研究	2016-2020
15	基盤研究C	総合文化学部	教授	李イニッド	非言語的情報による異文化間ミス・コミュニケーション	2018-2020
16	基盤研究C	総合文化学部	准教授	宮城弘樹	墓墓制からみた琉球史に関する基礎的研究	2018-2020
17	若手研究	総合文化学部	准教授	及川高	奄美群島における村落自治文書の基礎的研究	2018-2020
18	若手研究	法学部	准教授	野添文彬	沖縄への米軍基地集中に関する外交史研究- 三つの局面の分析	2018-2020
19	若手研究	総合文化学部	講師	阿嘉奈月	多読のメカニズムについて検証ー低次レベル処理能力の活性化に焦点を当ててー	2018-2020
20	若手研究	総合文化学部	准教授	秋山道宏	戦後沖縄の経済界の形成と展開に関する政治経済史的研究: 建設業界を主な対象として	2018-2020
21	基盤研究C	経済学部	准教授	根路銘もえ子	屋外歴史的建造物の時空間的關係を可視化するデジタル表現手法の開発	2019-2021
22	基盤研究C	法学部	准教授	伊達竜太郎	会社従属法の設立準拠法主義とその展開ー適用範囲をめぐる議論を中心にー	2019-2022
23	研究活動スタート支援	総合文化学部	准教授	下地賀代子	琉球多良間方言の学習コンテンツ作成の試みー ニーズ調査に基づく	2019-2020
24	若手研究B	法学部	准教授	西迫大祐	19世紀イギリスの公衆衛生と自由・権利	2017-2020
25	若手研究	経済学部	准教授	照屋翔大	システム・アプローチによる持続的な学校改善の取り組みに関する米国調査研究	2019-2022
26	研究活動スタート支援	総合文化学部	講師	月野楓子	アルゼンチンにおける沖縄移民社会と「復帰運動」 在亜沖縄県人連合会を中心に	2019-2020
27	特別研究員奨励費	日本学術振興会	外国人特別研究員	ハイス・ファン・デル・ルベ 1	琉球列島における危機言語の記述と継承に関する研究	2020-2021
28	特別研究員奨励費	日本学術振興会	特別研究員	目差尚太 2	琉球諸語のモダリティ形式の体系的・記述的研究	2020-2022